

事業名	普及活動推進費		
細事業名	普及活動外部評価委員会設置費	財務コード	062701
担当部課室	農政 部 農業技術 課 普及教育 資金 担当 (内線)		5355

調書番号	87
------	----

事業の概要

実施期間	始期 H15 年度 ~ 終期 年度
実施主体	県(直営)
目的	だれ(何)を対象に 協同農業普及事業(農務事務所農業農村支援課、総合農業技術センター、果樹試験場、畜産試験場)の実施状況 その対象をどのような状態にして 第三者評価委員会において、有識者や農業者等の幅広い視点から普及活動等について客観的に評価をしている 結果、何に結びつけるのか 評価結果を反映した普及活動の改善
内容	普及活動が高度化・多様化する中、外部有識者や農業関係団体の代表等で構成する普及活動第三者評価委員会を設置し、国の協同農業普及事業運営指針に基づく普及活動計画、普及活動の体制、重点課題に係る普及活動の実績等について、評価項目と評価視点に基づき、客観的な評価や提言を受けるとともに、現地調査をふまえ普及活動に対する受益者の理解を深め、今後の効率的で効果的な活動に資することを目的として、第三者評価を実施している。評価結果並びにこれに基づく取り組みについては、インターネット等により広く公表している。

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
活動指標	第三者評価対象組織数	目標	4	4	4	3	4	3	4
		実績(見込)	4	4	4	3	4	3	
		達成率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
		達成区分	b	b	b	b	b		
成果指標		目標							
		実績(見込)							
		達成率							
		達成区分							
決算(予算) 単位:千円		88	75	84	81	83	99	99	

事業の評価(平成27年度の業績評価)

活動指標	b	評価	第三者評価委員から普及活動に対する評価や意見、提案を受けることにより、次年度以降の普及計画に反映することができ、より効率的・効果的な活動に向けた業務の改善につながっている。
成果指標	b		

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

見直しの必要性(平成29年度に向けた改善等の考え方)

見直しの必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い	<input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる	<input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input checked="" type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他()		
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能	<input type="checkbox"/> 成果向上は余り望めない
	説明	外部評価を実施し、その評価結果を次年度以降の普及計画に反映させることで、普及活動及びその体制の改善を図り、普及活動をより一層効果的に実施することができる。		
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> その他(評価手法に改善の余地がある)		
その他	説明	幅広い普及活動を評価するためには、第三者評価委員に対して取り組み内容を十分に理解してもらえるような評価手法を検討する余地がある。		
見直しの必要性	有	効果的な普及活動を推進するには、適切な普及指導計画の策定・実行・検証を行い、その結果を次年度以降の計画に反映させることで、普及活動及び体制の改善を図ることが重要であるため、外部評価の実施が不可欠であるが、より効率的に実施するための評価手法を検討する必要がある。		

見直しの方向(平成29年度当初予算等での対応状況)

実施方法等の変更	説明	評価委員会の実施だけでなく、日頃から普及活動に関する資料や情報提供などにより、幅広い意見や提言を受けられるようにする。
----------	----	---

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。